

## パブリックコメントに提出された意見とその意見に対する市の考え方

計画等の名称	龍ヶ崎市地域公共交通計画		
意見提出期間	令和4年12月12日(月)～令和5年1月11日(水)		
意見提出者数	4件(個人4件、団体0件)	意見件数	21件

No.	意見 No.	意見の概要	市の考え方
1	1	<p>【14 ページ】 1-1JR常磐線の利便性向上 龍ヶ崎市単独による要望活動の実施 事案無ければ評価する必要はなくてもいいと思う</p>	<p>「龍ヶ崎市地域公共交通計画(以下、本計画)」の14ページに記載している各事業評価につきましては、本計画の内容を検討するにあたり、「龍ヶ崎市地域公共交通網形成計画(以下、現行計画)」の実施事業の進捗状況を評価したものととなります。</p> <p>「龍ヶ崎市単独による要望活動の実施」につきましては、2018年度以降、未実施であることから「D」評価とし、本計画においては、上記を踏まえて、要望活動については市単独では実施せず、参画している各団体を通じて行うことと整理しております。</p>
	2	<p>【14 ページ】 取手線の補助を実施した”外” 外→”他”あるいは、”ほか”</p>	<p>ご指摘を参考に修正します。</p>
	3	<p>【32 ページ】 通学時における車送迎している学生、保護者に対しノーマイカーデーを推奨するようにと教育機関にアピールするように。 ちなみに市教育委員会の計画のパブリックコメント、県教</p>	<p>「ノーマイカーデー」については、交通事故の軽減、交通渋滞の緩和及び環境負荷の低減につながることから重要な取組であると認識しております。</p> <p>本計画の実施事業の施策におきましても、69ページに記載している実施事業4-4「環境にやさしい公共交通の実</p>

		<p>委高校教育課に情報提供したら、反響ありました。またとある学校に問い合わせしても影響ありで真摯に受け止めました。</p> <p>教育部門は通学路の危険箇所を抽出し、警察・道路管理者・交通安全所管課・学校・教育委員会による合同点検(現地確認)を実施することにより、危険箇所の改善を図っている。公共交通としても情報提供を受けるべきと思います。所感をお願いしたい。</p>	<p>現]の中で、学生や保護者に対し、エコ通学を推奨することとしており、公共交通利用に関する意識の醸成及び利用促進を図ることとしております。</p> <p>ご意見を参考にさせていただき、具体的取組を検討する際の参考にさせていただきます。</p> <p>また、市内の危険箇所についてはご指摘のとおり庁内で共有を図っているほか、市内の交通安全対策についての協議を行う「龍ヶ崎市交通安全対策協議会」においては、交通安全や学校教育の関係者に加えて、市内で路線バスを運行する関東鉄道株式会社も参画し、広く情報共有を行っております。</p> <p>このほか、附属機関である「龍ヶ崎市地域公共交通協議会」には、龍ヶ崎警察署や龍ヶ崎工事事務所も委員として参画しており、当市の公共交通を検討するにあたり、交通安全に関する知見を取り入れることができる体制となっております。</p> <p>引き続き、市内の公共交通に対して検討を行う際には、危険箇所等の交通安全の面にも十分留意してまいりたいと考えております。</p>
4		<p>【37ページ、50ページ】</p> <p>ネットワークイメージで牛久沼トレイル・道の駅のネットワーク構想は事業が再判定の結果次第でしょうか？</p>	<p>「目指す地域公共交通ネットワークイメージ」及び「コミュニティバス路線再編イメージ」については、現時点での施設や道路の状況を基に設定しております。</p> <p>当計画については、中間年度に見直しを行う予定もございますので、状況に応じ、適宜修正を行ってまいりたいと考えております。</p>

5	<p>【44ページ】【③-1】          停留所の整備について          ご存知かと思いますが、横断歩道、交差点近傍の停留所位置は国交省から指示されていると思われませんが、達成しているのでしょうか？</p>	<p>バスがバス停留所に停車した際に、交差点又は横断歩道にその車体がかかるバス停留所などの、いわゆる危険なバス停については、関東運輸局茨城運輸支局が事務局となっております「茨城県バス停留所安全性確保合同検討会」において、対応優先度の設定や進捗確認を行っております。</p> <p>令和4年7月31日時点で、市内にはいわゆる危険なバス停が5カ所残っておりますので、引き続きその解消に向けて、運行事業者とともに検討を進めてまいりたいと考えております。</p>
6	<p>【45ページ】【④-2】          高齢者の運転が荒くなってきています。          特にスーパーへの来客は危険になっていて公道上でもヒヤリ度が増えているのが実態です。          返納支援事業を適応年齢で返納する前の方講習会などを率先して警察と強化すべきです。</p>	<p>高齢者を対象とした交通安全及び安全運転の啓発活動につきましては、以前より関係団体と共に、敬老会等でキャンペーン活動を行うほか、竜ヶ崎警察署が主催するシルバードライバーセミナーに協力を行うなど、様々な取組を行っております。講習会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、近年実施できておりませんが、引き続き関係団体と協力し、啓発活動を行ってまいりたいと考えております。</p>
7	<p>【47ページ】          JR東日本は羽田空港への延伸計画を表明されています。よって特別快速の復活及び羽田空港接続は必要となります。鉄道施設ですが、車両高性能なので、施設が追いついてないと思う。土木や線路改良の整備促進を強化して頂きたい。龍ヶ崎市民は茨城空港の利用が消極的なイメージ。</p>	<p>JR常磐線の利便性向上につきましては、沿線市町村全体の課題であると認識しておりますので、本市が参画しております各団体を通じて、引き続き要望活動や利用促進を続けてまいりたいと考えております。</p>

8	<p>【48 ページ～49 ページ、55 ページ】  路線バス、コミュニティバスにおいてはゆとりもった到着時間のダイヤ設定が必要です。意外に鉄道接続考慮をしてないので、ダイヤ改定に尽力して頂きたい</p>	<p>運行ダイヤの設定については、公共交通の利便性に関わる重要な要素であると認識しております。  コミュニティバスの運行ダイヤにつきましては、龍ヶ崎市地域公共交通協議会において協議・決定しており、JR龍ヶ崎市駅や関東鉄道竜ヶ崎駅での鉄道との接続のほか、バス同士の接続や、高等学校等の通学時間帯、乗務員の休憩時間の確保等、総合的に勘案して設定しております。  今後もよりよいコミュニティバスとなるよう、運行内容を精査してまいりたいと考えております。</p>
9	<p>【51 ページ】  龍タクが浸透しません。PR 方法を考慮するべきです。</p>	<p>乗合タクシー「龍タク」の利用促進につきましては、毎年度市広報紙「りゅうほー」へ記事を掲載するほか、敬老会において制度の案内チラシを配布するなどの活動を行っております。  一方、ご指摘いただきましたとおり、令和3年度に実施いたしました市民アンケートにおきましても、コミュニティバスと比べ、乗合タクシー「龍タク」の認知度が低い結果となっておりますことから、どのようなPR方法がふさわしいか見直しを行い、引き続き利用促進に努めてまいります。</p>
10	<p>【55 ページ】  昼間割引において始発地が8時前、市内乗車／降車が8時台でも割引適用できないか？</p>	<p>路線バス昼間割引制度の拡大につきましては、現行計画においても実施事業と位置付けておりましたが、本制度の拡大については、路線バスの収益の悪化につながる懸念もあることから、慎重に検討を続けてまいりたいと考えております。</p>
11	<p>【59 ページ】  車内の装置類でピクトグラム表示されるか点検し、海外</p>	<p>ノンステップ導入事業費補助につきましては、国土交通</p>

		の人がわかるようにして頂きたい。	省が定めている「標準仕様ノンステップバス認定要領」を満たす車両に対して補助を実施することとしております。 上記の認定要領におきまして、車内表示については「分かりやすい表記とする」こと及び「可能な限りピクトグラムによる表記とする」との定めがありますので、引き続き路線バス運行事業者へのノンステップバス導入の支援に併せ、ピクトグラム表記の普及に取り組んでまいりたいと考えております。
12	【60 ページ】 7の施設関連と同様と車両についてですが、環境型ハイブリッド車両の更新を検討できるか？		「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」につきましては、関東鉄道竜ヶ崎線において行う、安全性の向上に資する設備の整備に要す費用に対し、補助金を交付するものでありますことから、環境型ハイブリッド車両への更新につきましては、対象にならないものと認識しております。 一方で、環境型ハイブリッド車両につきましては、窒素酸化物など有害物質の低減及び省燃費、低騒音に優れるなど、環境に配慮した車両でありますことから、環境負荷低減についての具体の取組を検討する際の参考にさせていただきます。
13	利用促進において鉄道のおトクな切符のPRがない。 JRの都内限定のパスを復活することを希望。		ご提案につきましては、「都区内・りんかいフリーきっぷ」の復活又は同様の機能を持つ特別企画乗車券の販売」として、本市が参画している各団体を通じ、JR東日本水戸支社に対し要望活動を継続しております。今後も市民からの要望を取りまとめ、各団体を通じて要望活動を継続してまいります。

	14	<p>教育委員会の計画プランにおいて、公共交通機関のことを触れてなかった。連携してもいいのでは？</p> <p>市健康増進計画のパブリックコメント本話題に触れさせました。</p> <p>バスの乗り方や鉄道利用での運賃の豆知識を教えることで子供らにも多様に興味持たせることが大事と思う。</p>	<p>毎年度、本市立小学生に対しましては、「学校教育におけるモビリティ・マネジメントの実施」として、身近な地域公共交通の役割や大切さについて学ぶ、参加型の授業を行っているところです。</p> <p>当該事業は、持続可能な交通体系を実現するための取組の一つとして本計画案に位置付けているため、「第2次龍ヶ崎市教育プラン(案)」の記載はありませんが、担当課間で連携を図りながら、小学校の社会科や総合的な学習の時間において実施してまいります。</p>
2	15	<p>○市内移動の増加に産業（企業・商業など）を誘致する</p> <p>産業誘致要因の一つとして路線バスの利便性を向上する。産業勤務者のバス乗車のほか商業の利用者なども利便性向上により乗車が増加する。路線・便数・料金は関連する他の開発計画と併せて決める。</p>	<p>路線バスにつきましては、バス事業者が、事業計画により「路線」を設定しているほか、運行計画に基づき、「運行系統」、「運行回数」、「運行時刻」等の設定をしておりますが、民間事業者による運行という性質上、産業誘致を目的とした運行につきましては、採算面などから難しいのが現状です。</p> <p>一方で、産業誘致に伴い、路線バスの利用が多く見込めることで、運行される可能性がありますことから、ご提案いただいた内容につきましては、都市計画に関する基本的な方針である、「都市計画マスタープラン」などの、具体の取組を検討する際の参考にさせていただきます。</p>
	16	<p>○市外移動の増加にＪＲ龍ヶ崎市駅へのバスの利便性を向上する</p> <p>路線バスはＪＲ龍ヶ崎市駅を經由し運行はＪＲの列車に連動する。市民・来訪者の市内外移動が容易となり、移住者の増加も期待できる。路線・便数・料金は市内移動と</p>	<p>関東鉄道株式会社が市内を運行している路線バスにつきましては、既にＪＲ龍ヶ崎市駅を經由し運行しているほか、ＪＲ常磐線の発車時刻に沿った運行を行っております。</p> <p>路線、便数及び運賃を市内移動に併せ決定することにつ</p>

		一体化して決める。	きましては、民間事業者によるバス運行という性質上、採算面などから難しいものと認識しております。
	17	<p>◎路線バスの提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス運行当初より潜在的な利用者なども呼び込むため路線・便数・料金を魅力あるものとする。</li> <li>・バス路線は市役所・警察署、ニュータウン方面とし各2～3路線、JR龍ヶ崎市駅を経由する。</li> <li>・便数は最少でも1時間3便とし、運行時間・時刻はJR列車時刻に極力合わせる。</li> <li>・料金は最高300円程度とする。(現行の竜ヶ崎線+コミュニティバス：430円)</li> <li>・採算が見通せるまで当初数年間は市が補助金を支出する。(運行前に利用者数等調査を行う)</li> <li>・速やかに立案し試行からでも実施する。バス運行企業は市内外を問わない。</li> <li>・市役所地区・大型商業区域への直行的バスは別途検討する。(既存商業区域再興が課題?)</li> <li>・竜ヶ崎線など鉄道の有無は市の具体的な将来像として周辺市も視野に入れて早期に検討する。</li> <li>・「龍ヶ崎市地域公共交通計画」には具体性を持たす。</li> </ul>	<p>当市の公共交通ネットワークにつきましては、市の西部にJR常磐線の龍ヶ崎市駅が存在し、そこを発着地として、関東鉄道竜ヶ崎線や関東鉄道株式会社が運行する民間路線バスが運行しております。また、本市では、それらの民間の公共交通機関が運行していない地域の方の移動手段を確保するため、コミュニティバスや乗合タクシー「龍タク」を運行しております。</p> <p>本計画におきましては、上記のコミュニティバスや乗合タクシー「龍タク」に関する事業のほか、民間の公共交通機関の維持・確保に向け、様々な取組を実施することとしております。</p> <p>そのような中で、新たな路線バスの運行につきましては、既存の公共交通機関へ与える影響も大きく、慎重に検討を行う必要があると考えております。</p> <p>ご提案をいただいた内容につきましては、今後のコミュニティバスの再編時など、具体の取組を行う際の参考とさせていただきますと考えております。</p>
3	18	<p>【38ページ】</p> <p>基本理念・基本方針について、「公共交通計画」「戦略的な交通施策」というものの、市民の移動は「公共交通」だけで実現されているわけではなく、本市のような人口密度が過密ではない地方都市にあっては、現実には「自家用自動車」による移動が中心になっており、そのことの是正を</p>	<p>ご指摘をいただいたとおり、本市といたしましても、過度な自動車利用により発生する様々な課題について、公共交通の利用を促すことで、課題の解決に向けて取り組んでいくとの考えの基、本計画を策定しており、4つの基本方針を策定する際には、そのことを踏まえて、基本方針4「市民と</p>

		<p>図っていくことで、環境問題、交通安全等の課題を解決させつつ、社会的な最適解として「地域公共交通」の推進が目指されていると考えます。</p> <p>当計画も、基本としてそのような考え方を基礎として、その上に「『住みよい』まちづくりを支える、利便性が高く持続可能な地域公共交通の実現」を打ち出しているのだと理解します。</p> <p>問題は、この計画の中に、そのような「なぜ公共交通」なのか、「自家用自動車に依存することを減らしていこうとしている」ことに関して、触れられていないことです。</p> <p>現在、気候変動対策、脱カーボン等々、環境面からの運輸分野での対策が課題とされているほか、新たなコンパクトシティなどの都市像が打ち出されている中、そのことを基礎とし、明記もしたうえで公共交通を重視した交通計画を策定し、実現させることの意義がわかる「交通計画」とされるべきではないでしょうか。</p>	<p>協働で支える持続可能な地域公共交通」において、「公共交通の現状や必要性・重要性について市民に広く周知」することとしております。</p> <p>ご指摘をいただきました、「なぜ公共交通」なのか、「自家用自動車に依存することを減らしていこうとしている」ことに関する記載がない点につきましては、上記のとおり、基本方針・基本理念を設定するにあたり、前提とした考えであることや、当市に限らず、地域公共交通を推進していく際の一般的な考え方であると認識しておりますことから、1ページの「1. 計画策定の背景及び目的」に追記させていただきたいと考えております。</p>
4	19	<p>・江川の親水公園化</p> <p>スカイツリーに隣接して、運河の横十間がある。半世紀前の東武橋と京成橋の間は、夏に異臭が発生していた。スカイツリー開業後、東武と京成橋の間に遊歩専用の橋が掛けられ、また、水面は親水公園化している。他にも、墨田川のスーパー堤防化があり、区画整理事業をするときには是非、江川を親水公園化して欲しい。</p>	<p>ご提案いただいた内容につきましては、都市計画に関する基本的な方針である、「都市計画マスタープラン」や緑地の保全や緑化の推進に関する施策を定める「緑の基本計画」などの、具体の取組を検討する際の参考にさせていただきます。</p>
	20	<p>・江川と北竜台1号線・常磐線・若柴線で囲まれた地域の区画整理事業</p> <p>佐貫駅東特定土地区画整理事業（44.5ha）により駅周</p>	<p>ご提案いただいた内容につきましては、都市計画に関する基本的な方針である、「都市計画マスタープラン」などの、具体の取組を検討する際の参考にさせていただきます。</p>



	<p>辺は、スプロール化が阻止され、よく整備された。 但し、佐貫2・3・5号線、及び歩行者専用線は区画整理地内で止まっている。3号線の用地買収に話が進捗しており、この地域の区画事業は必至と考える。開発主体は、広大な地域となるので、UR都市機構とか、公津の杜（117ha）区画整理事業のように市が主導することが望まれる。</p>	
21	<p>・都心と茨城空港を直結する鉄道の敷設  2013年9月に国土交通省基本政策部会での「成田空港の長期需要予測（発着回数）」は、需要予測の上～中位水準で推移しており、現在も引き続き活用されている。  LCC便はいずれ、茨城空港に比重を置くことも考慮されると思う、160km/hで軌間1435mmならば都心と1時間以内で直結できるので、龍ヶ崎市の半田町とか塗戸町、あるいは、稲敷市を通過する鉄道の敷設を考慮して欲しい。つくばエクスプレスの沿線への影響は素晴らしいです。  【建設費莫大だが、例えば、芝山鉄道の隧道部分を滑走路建設の一部として国が建設したこともある】  【ウクライナ戦争があり防衛費が増大するので、百里基地と横須賀の軍港、習志野地区の下総基地、及び陸上自衛隊駐屯地を鉄道で結べば防衛力の強化となる。クリミア大橋で鉄道の重要性は認識された】</p>	<p>ご提案いただきました内容につきましては、市加盟団体による要望活動等、具体的取組を検討する際の参考にさせていただきます。</p>